

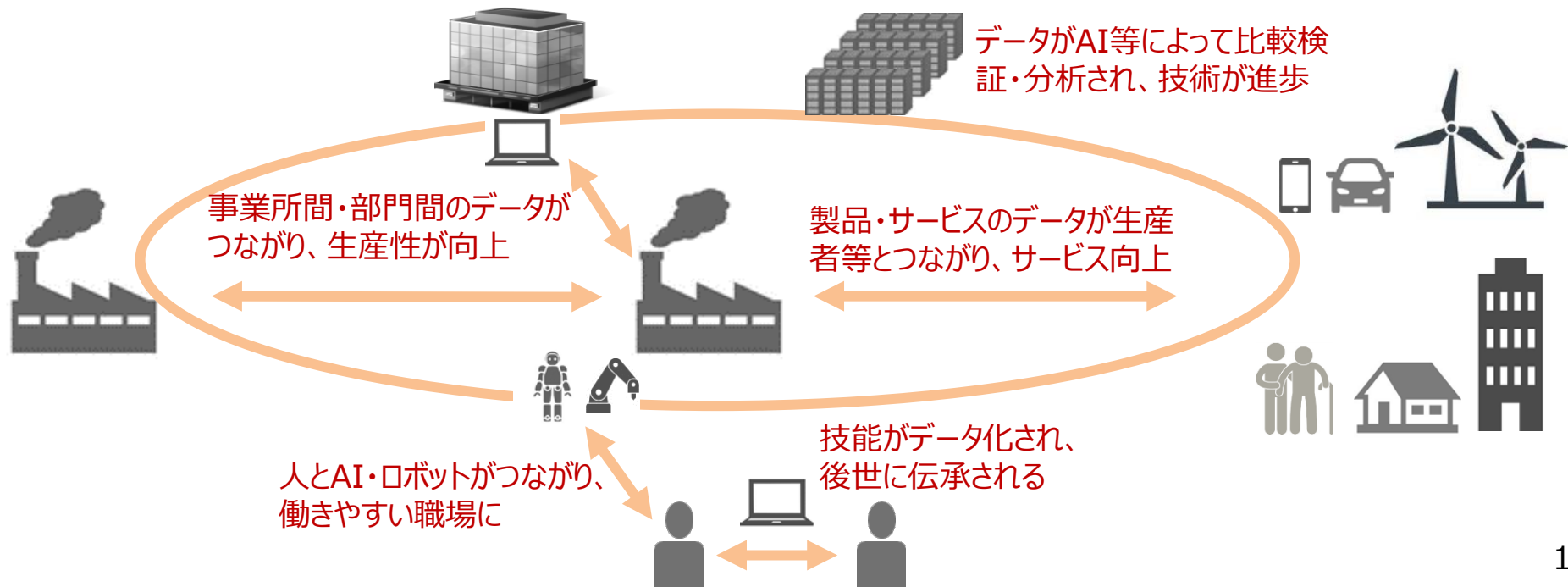
Connected Industriesについて

従来 事業所・工場、技術・技能等の電子データ化は進んでいるが、それぞれバラバラに管理されている

**産学官における
議論喚起・検討**

ものづくり、自動走行、ロボット、ドローン、ヘルスケア、バイオなど分野別取組み
標準化、データ利活用、IT人材、サイバーセキュリティ、人工知能、知財制度など横断的取組み

将来 データがつながり、有効活用により、技術革新、生産性向上、技能伝承などを通じて課題解決へ
Connected Industriesは、Made in Japan、産業用ロボット、カイゼン等続く、日本の新たな強みに



Connected Industriesの考え方

～我が国産業が目指す姿（コンセプト）～

<基本的考え方>

“Connected Industries”は、様々なつながりにより新たな付加価値が創出される産業社会。

例えば、

- ・モノとモノがつながる（IoT）
- ・人と機械・システムが協働・共創する
- ・人と技術がつながり、人の知恵・創意を更に引き出す
- ・国境を越えて企業と企業がつながる
- ・世代を超えて人と人がつながり、技能や知恵を継承する
- ・生産者と消費者がつながり、ものづくりだけでなく社会課題の解決を図る

ことにより付加価値が生まれる。

デジタル化が進展する中、我が国の強みである高い「技術力」や高度な「現場力」を活かした、ソリューション志向の新たな産業社会の構築を目指す。

現場を熟知する知見に裏付けられた臨機応変な課題解決力、継続的なカイゼン活動などが活かせる、人間本位の産業社会を創り上げる。

<3つの柱>

1 人と機械・システムが対立するのではなく、協調する新しいデジタル社会の実現

- ・ AI もロボットも課題解決のためのツール。恐れたり、敵視するのではなく、人を助け、人の力を引き出すため積極活用を図る。

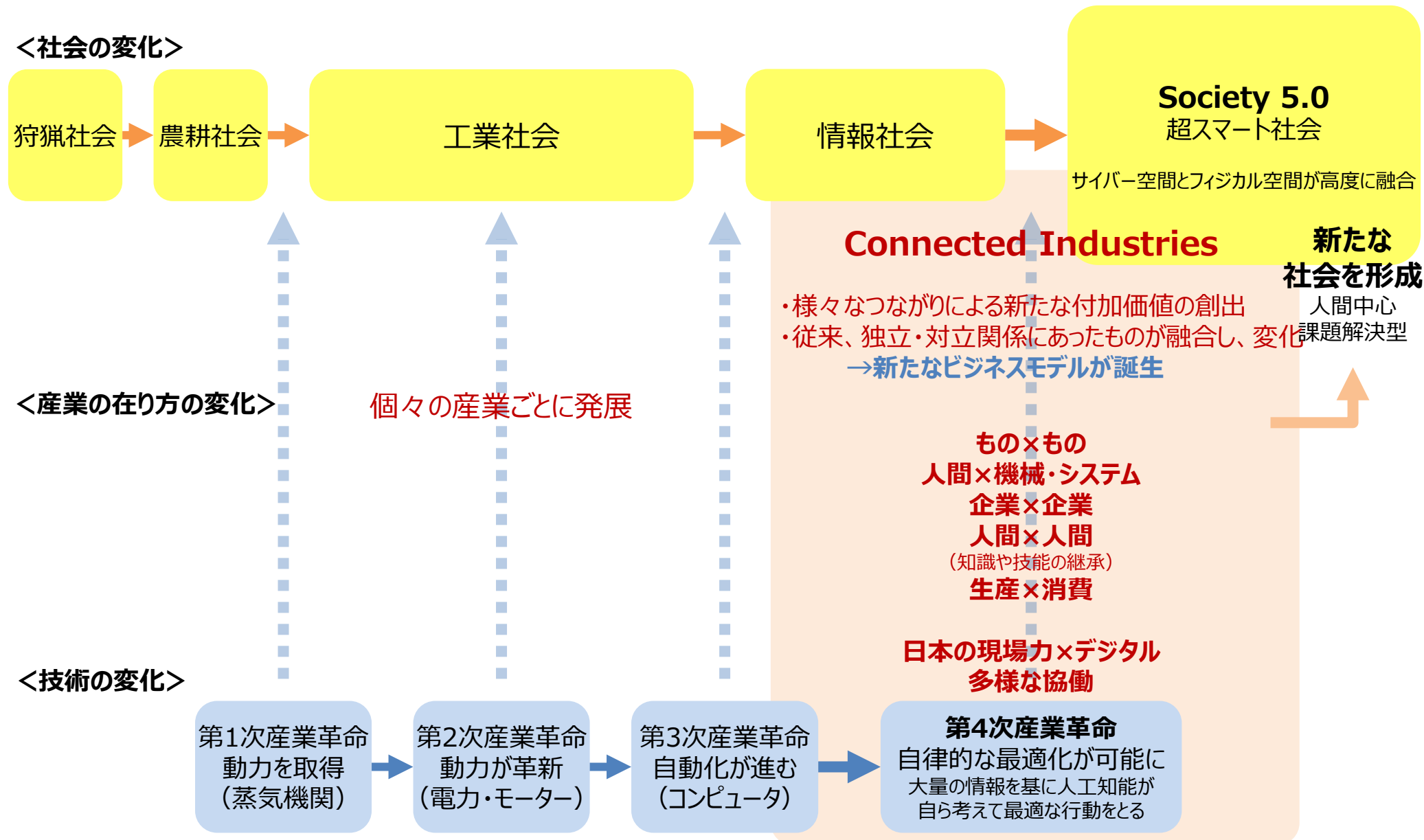
2 協力と協働を通じた課題解決

- ・ 地域や世界、地球の未来に現れるチャレンジは、いつも複雑で、企業間、産業間、国と国が繋がりが合ってこそ解ける。そのために協力と協働が必要。

3. 人間中心の考えを貫き、デジタル技術の進展に即した人材育成の積極推進



“技術の変化”を“社会の変化”につなげるConnected Industries



Connected Industries（C I）の実現に向けた今後の取組

1. 実現に向けた「分野別」対応

- (1) スマートものづくり … 技術力や現場力を生かしたスマートものづくり実現に向け、国際標準等の基盤整備や、受発注・設計・生産及び産業保安等のデータ共有の先進事例創出を支援。
- (2) 自動走行 … 自動車産業の競争力維持のため、自動走行の事業化（社会システムの設計＝地域実証等）と技術（協調領域最大化＝高精度地図等）で世界最先端を目指す。
- (3) ロボット、ドローン … 世界屈指のロボット大国として、ロボットに係る要素技術の研究開発や人材育成を進め、ものづくり・サービス、介護、インフラ点検等の分野で実装を加速。
- (4) バイオ、ヘルスケア … デジタル技術の「次」を見据えたバイオとデジタルの融合による社会に優しい産業構造への転換と、健康・医療情報を活用したサービス・機器等の開発支援。

2. 実現に向けた「横断的」対応

- (1) データ利活用 … C Iにおけるデータ活用の基盤として、公的データのオープン化、産業・個人データの流通・利活用の促進、国際的なデータ流通の円滑化を推進。
- (2) IT人材育成 … C Iの担い手創出に向けて、教育訓練講座の拡充、プログラミング教育必修化、IT分野の起業や事業化を支援する未踏アドバンストの創設を実施。
- (3) サイバーセキュリティ… C Iに不可欠なサイバーセキュリティ対策を万全にするため、インシデント情報等の共有の仕組みの構築、人材育成、サイバーセキュリティ投資促進を実施。
- (4) 人工知能研究 … C Iによる「勝ち筋」を確かなものとするため、産総研が大学等との連携の下、生産性向上等に資する研究開発を実施するとともに、グローバル連携を強化。
- (5) 知財・標準制度 … C Iに対応したルールの高度化として、ハードとソフトの融合に対応したルール整備、標準の実施に必要な知財の円滑な活用のための環境整備等を進める。